

2023

2032

CHALLENGE!



めぐみの大地に抱かれて

チャレンジ! やまがた

「住んでみたい」「住んで良かった」「住み続けたい」
そんな“やまがた”づくりにチャレンジします

第6次山形村総合計画

概要版

はじめに 第6次総合計画の概要

(1) 計画の目的

第6次総合計画（以下、本計画）は、10年後の村の暮らしの「ありたい姿」を実現するための羅針盤となる行政の最上位計画です。

本計画では、村にとって追い風になる社会・経済の変化を活用した活性化策や村での暮らしを脅かす環境変化への対応策等、これからの時代に必要な「村づくりの基本方針」を示します。

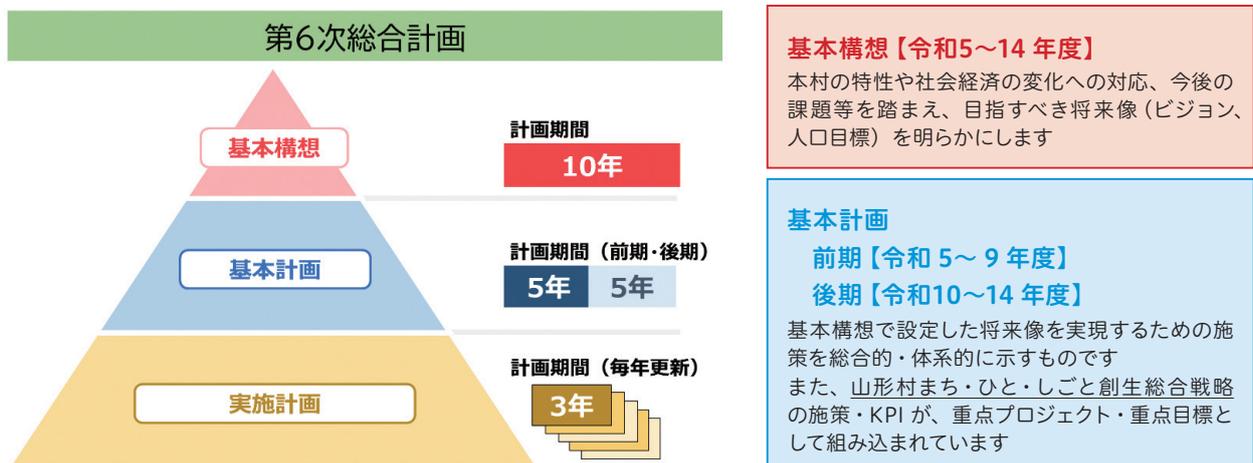


総合計画は、村づくりの羅針盤となるものであり、職員はもとより、より多くの住民にとって、自分事として、折に触れて参照されることを願ってつくられています。

(2) 計画の構成と期間

本計画は、10年間の長期を見通す「基本構想」、これを5年間で区切った中期を見通す「基本計画」、3年間の短期を見通して1年単位で更新する「実施計画」により構成されます。本書は、「基本構想」と「基本計画」をまとめたものになっています。

基本構想・基本計画をもとに、村は「実施計画」を毎年度更新し、村の主要事業と予算を検討していきます。



基本構想

(1) 将来像

めぐみの大地に抱かれて

Challenge!
Yamagata

チャレンジ! やまがた



山形村は、長野県のほぼ中央部、松本平の南西に位置する農村地域です。農村地域でありながら、商業施設が充実し、松本市街地にも近く、コンパクトな居住エリアと肥沃な農地が同居する「便利な田舎」です。

山形村は、今、人口減少や多様化等により大きな転換期を迎えています。

時代の荒波に飲まれず、持続可能で、住民一人ひとりが自分らしく暮らし続けられる村へ。

そのためには、みんなで村の良さを再発見し、磨き上げていくことが求められます。

便利なだけでなく、「住んでみたい」「住んで良かった」「住み続けたい」、そんな風に思える瞬間を増やしていくことが重要です。

住民も、事業者も、役場職員も、山形村に関わるすべての人が力を合わせて、ここにしかない「豊かなくらし」を共に創っていく。多様な価値観を認め合い、互いに支え合いながら、共に輝いていく。

私達は、そんな「やまがた」づくりにチャレンジします。

一人ひとりが自らチャレンジして、村に彩りを加えてほしい、そんな願いを込めて「チャレンジ」は白抜きになっています。ぜひ、あなたの色を塗ってみてください。

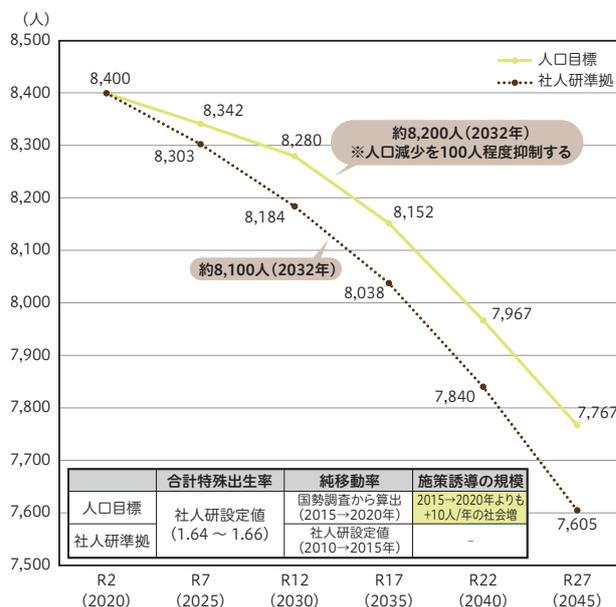
(2) 人口目標

2020年の国勢調査によると、山形村の人口は8,400人です。

本計画は、「山形村人口ビジョン」(平成27年度策定)を引き継ぎ、2020年の国勢調査を起点とした村独自の人口推計をもとに、10年後の人口目標を次のように設定します。

2032年の人口目標

8,200人



基本

(1) 施策体系

将来像の実現を目指して、7つの分野別ビジョンを設定します。分野別ビジョンは言葉と数値で表現される、本計画を通じ

	1 子育て分野				2 教育分野				3 健康・福祉分野				4 産業振興分野				
ビジョン	子育て子育てに 自信と誇りを持てる やまがた				この村が好き!! 学び楽しむ やまがた				みんなが元気で、 お互いを理解し、 共に支え合える やまがた				魅力ある産業が 持続・発展する やまがた				
全体目標	令和8年度の目標 ※()内は令和3年度の実績 子育てを楽しんでいる保護者の割合……95.0% (95.0% ※令和1年度) 子どもの人口 (18歳未満) ……1,255人 (1,353人) 出生数 ……64人 (49人)				令和8年度の目標 ※()内は令和3年度の実績 地域社会をよくするために、何をすべきか考えたことがある児童・生徒の割合……25.7% (11.3%) 学びや文化・スポーツ等の環境が充実していると思う村民の割合 ……41.4% (31.4%)				令和8年度の目標 ※()内は令和3年度の実績 要介護認定を受け始める平均年齢……81.0歳 (79.7歳) 国民健康保険の被保険者1人当たりの医療費……360,000円 (388,905円) 後期高齢者医療の被保険者1人当たりの医療費……760,000円 (737,627円) 介護保険事業費……650,000千円 (649,477千円) 山形村は村民が互いの立場を認め合い、助け合える村だと思ふ村民の割合……40.0% (30.0%)				令和8年度の目標 ※()内は令和3年度の実績 中核的経営体数 (認定農業者数) ……60経営体 (62経営体) 村内事業所数 ……300事業所 (289事業所) 農業や観光等地域資源を活かした産業の活力があると思ふ村民の割合 ……48.7% (38.7%)				
施策	1	2	3		1	2	3		1	2	3	4	1	2			
	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	多様な預かりサービスの充実	子ども・家庭への支援	様々な悩みや問題を抱える子ども・家庭への支援	学校教育・家庭学習の充実	社会教育・個人学習の機会や内容の充実	文化活動の拠点づくり		健康長寿のまちづくり	共に支え合う地域社会づくり	高齢者福祉の充実	障がい者福祉の充実	農業の振興	商工業の振興			
事業の方向性	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4
	結婚を望む男女への支援	安心して妊娠・出産ができる環境の充実	子育て支援の充実	地域と連携した子育て環境づくり	保育園の充実	放課後の居場所の充実	その他の預かりサービスの充実	子どもの悩みや問題を抱える子ども・家庭の把握	生活の質の向上に向けた支援	子どもの養育に関する支援	様々な悩みや問題を抱える子ども・家庭の把握	支援者のネットワークづくり	生活の質の向上に向けた支援	子ども・子育て支援事業計画	教育内容の充実	家庭との連携の充実	地域と連携した教育環境づくり
主な個別計画	子ども・子育て支援事業計画				教育振興基本計画				健康増進計画				障害者計画				
	子ども・子育て支援事業計画				教育振興基本計画				健康増進計画				障害者計画				
SDGs																	

(2) 重点プロジェクト

ビジョンの実現に向けて、前期基本計画で特に力を入れて（人材・予算等を積極的に投入して）実現を目指す状態「ミッション重点プロジェクトは、山形村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）としても位置づけ、毎年度 PDCA サイク

1 子育て分野

ミッションA1 誰もが必要な保育サービスを受けられる

重点プロジェクト 潜在的な保育ニーズにも応えられる体制づくり

保育ニーズに合わせて3歳未満児を預かるために、フルタイム勤務の保育士の増員を推進します。また、村と認可私立保育園（やまご保育園）との連携を充実していきます。

ミッションA2 小学生の放課後の居場所がある

重点プロジェクト 小学生の放課後の居場所の確保

保護者のニーズを確認しながら、ふれあい児童館以外で、小学生の放課後の居場所を確保するとともに、地域と連携しながら多様な体験を提供します。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
3歳未満児の預かり人数	54人	60人
放課後の居場所を利用する児童の割合	36%	50%



みんなでチャレンジ！

住民

体験コンテンツの提供・ボランティアへの参加（わくわくクラブの支援、子ども食堂、親子料理教室等）

企業・団体など

ライフワークバランスの推進、体験コンテンツの提供

ミッションB 山形らしい子育てが村内外に発信されている

重点プロジェクト 山形らしい子育ての発信

山形村子ども・子育て会議において、山形村と近隣自治体との子育て支援の違いや特色を見える化し、村内の子育て世代や支援者と共有しながら、特色の磨き上げを行います。また、移住施策と連動しながら、山形村の特色を子育て世代に対して積極的に発信していきます。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
子育て支援センター「すくすく」登録者数（村内在住者）	403人	400人
マスメディア（テレビ、新聞、ラジオ）に取り上げられた回数	14回	17回



みんなでチャレンジ！

住民

山形らしい子育てをSNSで発信

ミッションC 子育て支援の体制やネットワークが充実し、支援が必要な子どもが健やかに育っている

重点プロジェクト 特性や家庭環境に左右されず、すべての子どもが幸せに育つための支援体制の向上

保健福祉課等と連携して、様々な相談が1箇所ですべて受けられる「ワンストップ相談窓口」を整備・運営します。また、支援が必要な子ども・家庭の情報を支援者間で共有し、支援が必要な子どもにも総合的な支援が届くようにします。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
複数分野の専門職が訪問した、新生児のいる家庭の割合	98%	98%



みんなでチャレンジ！

住民

子ども達の登下校の見守り・声かけ、気になったことを村と共有する（子どもの変化等）

ン」として定め、ミッションの実現に向けた具体的な取り組みと目標を重点プロジェクトとして設定します。ルをまわし、その内容を改善していきます。

2 教育分野

ミッションA

やまがたの良さを再発見し、
みんなで磨き・発信する学びが盛んになっている

重点プロジェクト

ふるさと学習を通じてやまがたを知り、
郷土への誇りや愛着心を育てる

学校教育や生涯学習を通じて、子どもから大人までが郷土の歴史や風土、新たな魅力を発見し、発信するふるさと学習を推進します。また、学校教育・生涯学習に関わるボランティア活動を推進します。これらの活動を通して、“やまがた”を離れても“やまがた”を思う心を育みます。



重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合	32.3%	80.0%
将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	62.9%	75.0%
今住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合	64.5%	68.9%
学校教育・生涯学習に関わるボランティア数	276人	1,500人

みんなでチャレンジ!

住民

学校教育・生涯学習に関わるコンテンツの磨き上げ・ボランティアへの参加

企業・団体など

学校教育・生涯学習に関わるコンテンツの提供・ボランティアへの参加、公民館と連携した活動の検討

ミッションB

多世代が交わり、楽しみながら、学び続けられる場が充実している

重点プロジェクト

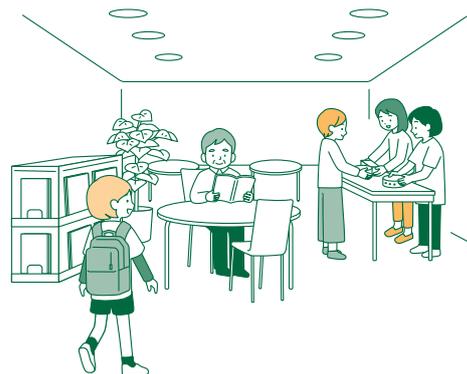
大人の体験や経験を子ども達に
伝え育てる機会を増やし、
子ども達の「できる!」を伸ばす

住民、企業・団体等と連携して、子ども達の体験を充実するため、子どもも大人も参加する生涯学習の場を増やします。

重点プロジェクト

人々の交流、学習、文化発信の拠点、
住民の居場所となる
新たな複合施設を実現する

住民ニーズを十分に踏まえながら、ふるさと学習を始めとする様々な文化活動を創出・拡大していく、文化の創造・発信の拠点としての複合施設を建設し、活動を展開していきます。



重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
生涯学習・スポーツ・文化芸術等の講座の回数	47回	80回
多世代が参加した講座等の回数	22回	35回
図書館のべ利用者数	11,504人	15,000人
小中学校における地域人材活用数	82人	100人

みんなでチャレンジ!

住民

生涯学習・スポーツ・文化芸術等のサークルや講座への参加、新たな複合施設の検討への参加

企業・団体など

生涯学習・スポーツ・文化芸術等のコンテンツの提供・協賛

3 健康・福祉分野

ミッションA

みんなが健康状態を把握し、健康づくりに取り組むことで、心も体も健康に暮らせる期間が延びている

重点プロジェクト 健診受診率の向上

健診の受診勧奨を進めるため、健診の未受診理由を把握するとともに対応策を検討します。また、住民ニーズに応じて健診の実施方法を改善します(時期・時間等の変更、ネット予約の利便性向上等)。

重点プロジェクト データに基づいた地域の健康課題の把握と事業改善

健康分野の事業を企画する専門職を確保するとともに、国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険等のデータベースを分析し、分析結果に基づいて事業の見直し・目標の設定を行います。



重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
特定健診受診率(法定報告)	37.9% <small>※速報値</small>	43.0%
特定保健指導実施率(法定報告)	56.1% <small>※速報値</small>	60.2%
乳幼児健診受診率	98.6%	98.6%
広報の地域の健康課題に関する記事数	11件	21件

みんなでチャレンジ!

住民

健診の受診、健康づくりの実践(講座等への参加、日々の取り組み)

企業・団体など

健康づくり講座等の開催、健康を業績向上等の経営的視点から捉えて戦略的に実践する「健康経営」の推進

ミッションB

みんなが地域社会の一員として、支え・支えられながら、生きいきと暮らす「ユニバーサル社会」が実現している

重点プロジェクト 総合相談窓口の整備・運営

子育て支援課等と連携して、様々な相談が1箇所ですべて受けられる「ワンストップ相談窓口」を整備・運営します。

重点プロジェクト 生涯学習等の多様な住民活動と連携した、困りごとの早期発見の推進

生きいきと暮らせる期間を延ばすため、他分野と連携して多様な住民活動に参加しながら、福祉的な支援が必要な住民を早期に見つけ、適切な支援につなげます。



みんなでチャレンジ!

住民

声かけ・支え合い、多様な住民活動の実践

企業・団体など

住民活動へのコンテンツの提供・協賛

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
ワンストップ相談窓口の実利用者数	—	↗
福祉的な支援をした実人数(要支援・要介護認定者を除く)	—	↗

※「↗」は、令和3年度以降の実績値の最大値よりも増加させることを示しています

4 産業振興分野

ミッションA 次世代の担い手が増え・育ち、持続可能な農業が再構築されている

重点プロジェクト 次世代の担い手の確保・育成・継承の推進

認定農業者・農協・村等が連携して受け入れ体制を強化し、新規就農者の確保・育成を推進します。また、次世代の担い手が農業関連団体の運営に積極的に参加する環境をつくるとともに、運営の合理化・効率化等を促進します。

加えて、次世代の担い手を含む関係者とともに産地の戦略（重点作物・販売戦略等）を協議・設定し、それに沿って村の支援事業を見直します。

重点プロジェクト 農地の中長期的な状況の把握と活用の促進

今後の農業の継続意向や農地の売却・賃貸等の意向を把握しながら、将来の農地の状況を見える化します。また、農業引退後の農地の流動性を高める意識啓発を推進します。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
認定新規就農者数	1経営体	2経営体
農業産出額(推計)	34.8億円	40.0億円
農地中間管理機構の借受面積	7.7ha	15.0ha



みんなでチャレンジ!

住民

農業への理解・応援、山形村産の農産物の消費

企業・団体など

新規就農の受入・指導、産地としての戦略づくりへの参画、事業の拡大

ミッションB1 新しいスタイルの産業拠点が整備され、新たな雇用が創出されている

重点プロジェクト 産業集積エリアの拡充と企業誘致

新たな産業集積エリアの整備に向け、地主への説明、用地交渉を行います。また、メインターゲットとする企業属性を設定し、誘致活動を推進します。

ミッションB2 小規模であっても、魅力ある事業が継続・発展している

重点プロジェクト 個性豊かな魅力ある事業の育成

創業や事業承継を支援し、次世代の担い手を増やします。また、村内の中小事業者が共同で行う事業を支援し、消費拡大につなげます。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
村の土地利用計画における企業誘致地区の達成率	90.6%	93.0%
上記地区への企業誘致件数	4件	1件
起業件数	4経営体	1経営体
事業承継件数	-	↑
支援した中小事業者のグループ数	-	↑

※「↑」は、令和3年度以降の実績値の最大値よりも増加させることを示しています



みんなでチャレンジ!

住民

産業集積エリアの整備への協力、村内事業者の製品・サービスの購入

企業・団体など

産業集積エリアの整備への協力、魅力的な製品・サービスの提供、商工会との連携協力

ミッションC 村内の観光資源の活用戦略ができている

重点プロジェクト 観光関連事業のあり方検討

村が持つ資源を再度見直し、魅力あるものに磨き上げて発信していきます。

「やまがた観光振興ビジョン(仮称)」を作成し、今後の方向性の明確化を図ります。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
観光資源の活用に関する戦略の策定	-	1
観光農園の来場者数	251人	500人

みんなでチャレンジ!

住民

身近な観光資源を見直し、地域の歴史文化等を学ぶ教室への参加

企業・団体など

村観光協会への協賛・協力、タイアップイベントの提案・企画・実行



5 まちづくり分野

ミッションA1 村の強みを発信し、子育て世代を始めとした移住者を受け入れている

重点プロジェクト 子育て世代を始めとした移住・定住促進

子育て世代に向けて山形の魅力を発信（口コミの促進、SNS・情報誌等による発信、住まい関連の事業者との連携等）します。

また、移住・定住に結び付く補助金を検討します。

ミッションA2 多様な住まいの選択肢がある

重点プロジェクト 多様なニーズに応える住まいの確保

民間事業者と連携し、宅地造成を推進します。また、使える空き家を開拓・リスト化し、所有者と利用希望者とのマッチングを行います。加えて、不動産の流動性を高めるための意識啓発と支援（相続の支援、解体費補助等）を充実します。



重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
移住・定住の相談件数	77件	125件
転入世帯数	134世帯	143世帯
住宅の建築工事届提出数	48件	48件
空き家バンクの登録件数	4件	10件
空き家バンクの成約件数	4件	8件

みんなでチャレンジ！

住民

山形の良いところの発信、空き家や土地の活用

企業・団体など

山形の良いところの発信、村内の不動産活用に関するソリューションの提供

ミッションB 住民が連絡班に加入している

重点プロジェクト 時代にマッチした連絡班の仕組みの定着

ゴミステーションの管理、防災等、すべての住民に関わる内容を軸とする連絡班（規模・活動内容・運営方法の見直し、多様な協力方法の設定（負担金等））をつくります。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
連絡班の加入率	67.7%	75.0%



みんなでチャレンジ！

住民

転入者への声かけ

ミッションC1 災害の被害を最小化する行動が定着している

重点プロジェクト マニュアル等を踏まえた防災訓練の推進

住民支え合いマップ、地区避難所運営マニュアルづくりを通して、地域と災害時の対応を共有します。マップ・マニュアルが整備済の地域では、それらを活用した防災訓練を実施します。

ミッションC2 子ども達の通学の安全が確保されている

重点プロジェクト 通学の安全性の向上

通学路の危険箇所の把握と改善を行います。また、子ども達の意識啓発のための街頭指導を行います。



重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
支え合いマップの作成地区数	1地域	全地域
防災訓練参加者数	1,810人	2,000人
交通事故発生件数	12件	9件

みんなでチャレンジ！

住民

住民支え合いマップ・地区避難所運営マニュアルづくりへの協力、避難訓練等への参加、交通安全の街頭指導への協力

6 インフラ分野

ミッションA 協働により、安心安全な道路整備が着実に進んでいる

重点プロジェクト 村道の舗装修繕の推進

利用頻度の高い道路（幹線道路）について、舗装修繕を推進し、健全な状態を維持します。

重点プロジェクト 協働での道路等の整備

道路整備に関する要望をリスト化するとともに、住民との対話によって優先度の設定を行った上で、整備を進めます。また、軽微な修繕については、資材提供の仕組みをつくり、事業者でなくても修繕できる環境をつくります。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
道路整備に関する要望数	48件	30件
対応することを目指した箇所数(予算案にあげたもの)	8箇所	8箇所
実施率	87.5%	100.0%

ミッションB 公共交通への住民満足度が上がっている

重点プロジェクト 公共交通の新線運行へのチャレンジ

公共交通の改善に向けて、検討組織を立ち上げるとともに、実態調査を行い、高校生や高齢者、障がい者等の交通不便者の移動ニーズを把握します。そして、移動ニーズに合致した運行計画を作成し、新線の運行につなげます。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
公共交通のべ利用者数	-	↗
公共交通の通学時間帯のべ利用者数	-	↗

※「↗」は、令和3年度以降の実績値の最大値よりも増加させることを示しています

みんなでチャレンジ!

住民

公共交通の積極的な利用（乗ることで維持する）

企業・団体など

公共交通の利用促進、協賛

ミッションC 一般廃棄物のほとんどが何らかの形でリサイクルされ、ごみの資源化が実行されている

重点プロジェクト 新たなごみ処理体制の構築

住民の暮らしや事業者の経済活動に合った、再利用・再資源化のモデルづくりを、住民・事業者と連携して行います。そして、ともに実践しながら、ごみの資源化につなげます。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
山形村からクリーンセンターに搬入される可燃ごみの総量	2,357t	2,100t
資源化率	14.1%	16.4%

みんなでチャレンジ!

住民

ごみの減量・資源化に対する意識の共有、各々が実施している環境対策の共有

企業・団体など

ごみの減量・資源化に対する意識の共有、各々が実施している環境対策の共有、リサイクルBOXの設置



みんなでチャレンジ!

住民

道路上に張り出している樹木等の適正な管理（伐採、せん定、除草等）

企業・団体など

道路上に張り出している樹木等の適正な管理（伐採、せん定、除草等）



7 市内連携分野

ミッションA

施策のビルド&スクラップや新たな財源確保で、重点プロジェクトを推進する予算を確保している

重点プロジェクト

重点プロジェクトを推進する予算確保の仕組みの強化

総合計画の全体目標・重点目標や投入資源の実績を活用して、客観的な施策評価を実施し、施策のビルド&スクラップにつなげます。また、国・県の助成金・補助金やふるさと応援寄附金等の仕組みを積極的に活用し、重点プロジェクトを強力に推進していくための予算を確保します。その際、事業課が自ら積極的に財源を探し、獲得していくことを推進していきます。



重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
補助金等を利用した新規事業割合	28.6%	↗
ふるさと応援寄附金の活用割合	21.6%	↗
職買提案制度による提案者数	0人	↗

※「↗」は、令和3年度以降の実績値の最大値よりも増加させることを示しています

ミッションB1

生産性を高め、重点プロジェクトを推進するマンパワーを確保している

重点プロジェクト

デジタル技術の導入による市内の生産性向上

デジタル技術等を活用して業務の標準化を図り、業務を効率化することで、重点プロジェクトを強力に推進していくためのマンパワーを確保します。

ミッションB2

すべての分野でDXが推進されている

重点プロジェクト

行政手続きのデジタル化

デジタル化による利便性の向上を住民が享受できるよう、オンラインで可能な行政手続きを増やします。



みんなでチャレンジ!

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
常に効率的で成果を出すことを求めている職場だと感じる職員の割合	31.0%	41.0%
マイナンバーカードを利用した申請の割合	7.0%	↗
オンライン申請件数	3,234件	↗

※「↗」は、令和3年度以降の実績値の最大値よりも増加させることを示しています

住民

マイナンバーカードの取得

ミッションC

すべての分野でGXが推進されている

重点プロジェクト

環境にやさしい行動の収集・促進

日々の暮らしや生産活動中でのCO₂排出状況を可視化します。「山形村地球温暖化対策実行計画(仮称)」を作成し、村内で実施する具体的な取り組みや推進体制を明確にします。

重点目標	令和3年度実績	令和8年度目標
地球温暖化対策実行計画(区域編)の策定	0	1
行政業務におけるCO ₂ 排出量	1,477t ※令和2年度	↘

※「↘」は、令和2年度以降の実績値の最小値よりも減少させることを示しています



みんなでチャレンジ!

住民

環境教育・環境学習への参加、環境にやさしい行動の実践

企業・団体など

環境にやさしい産業活動の実践

第6次山形村総合計画 概要版

山形村役場 企画振興課

〒390-1392 長野県東筑摩郡山形村2030-1

TEL 0263-98-5666 FAX 0263-98-3078 ホームページURL <https://www.vill.yamagata.nagano.jp/>